

埼玉県議会議員



# 岡地まさる 県政報告

## 信頼と責任

2020年 秋号

岡地まさる県政事務所  
桶川事務所  
桶川市上日出谷42-73  
TEL.048(780)2982  
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会9月定例会報告

### 新型コロナ専用仮設病棟の整備に着手

#### 一般会計補正予算

**【第7号】 877億4,996万2千円**

**【第8号】 21億3,961万1千円**

**【第9号】 414億7,054万5千円**

#### 前回補正に次ぐ大型 補正予算で体制強化へ

県議会9月定例会は9月24日に開会し、一般会計補正予算【第7号】877億4,996万2千円、【第8号】21億3,961万1千円、【第9号】414億7,054万5千円の計上などを議決し、10月14日に閉会しました。(一般会計補正後累計 2兆3,083億9,014万4千円)

新型コロナウイルスの感染が警戒を要するレベルで続く中、補正予算【第7号】では専用医療施設の整備をはじめとする入院医療機関の体制強化のため、690億9,323万3千円の計上を決めました。具体的には、新型コロナウイルス感染患者専用の仮設病棟を運営する医療機関を公募し、その医療機関の敷地内や隣接地にプレハブを建て、約320床を確保していく計画です。また、入院医療機関への支援はもとより、人工呼吸器やECMO（エクモ）等の設備整備への支援もさらに強化していきます。

その他、県内景気が急速に悪化していることから、経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応として、観光関連事業者への支援や中小企業のオンラインでの販路開拓への支援策等に6億89万3千円の予算が盛り込まれています。

#### 季節性インフルエンザの流行期に備えるため

### 高齢者のインフル ワクチンを無償化へ



補正予算【第8号】では、新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクの高い高齢者などを対象に、インフルエンザのワクチン接種を無償化するために、21億3,961万1千円の予算計上を決めました。

無償化の対象となるのは65歳以上の高齢者と60歳～64歳の基礎疾患のある方などです。インフルエンザの流行がピークとなる1月～2月頃に備えるため、期間は10月～12月としています。



▲県議会9月定例会では一般質問を行いました。本号では2頁以降に質問の概要を掲載しましたので、どうぞご一読ください。皆さまのご感想やご意見、県政に対するご要望などを頂けると幸いです。

#### 今年度の所属委員会

環境農林委員会

経済・雇用対策特別委員会（委員長）

### かかりつけ医での 診療・検査体制を整備へ

補正予算【第9号】では、身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療・検査できる体制の整備をはじめ、重点医療機関の病床確保に対する助成費の増額、抗原検査費用の増額、生活福祉資金の特例貸し付け事業への補助金の増額など、414億7,054万5千円が計上されています。

新型コロナに関しては、これまで保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」で対応していましたが、これからは発熱などを訴え、新型コロナかインフルエンザかの判断が難しい患者が増えると予想されるため、地域のかかりつけ医を窓口としていることで、より多くの患者に対応して検査できるようになります。なお、両方を診ることができます。医療機関は、県が地域の医師会と協議の上指定し、随時発表しています。

## 一般質問(令和2年10月6日)

# 県施策の課題について質問・提言

県議会9月定例会では一般質問を行い9項目10件について、県施策の課題について質問・提言などを行いました。その主な内容をご報告します。ご意見やご感想などをいただければ幸いです。



## 非常時のパニック買い対策について

新型コロナウィルス感染症の拡大に伴う品不足や価格上昇に対し、県はどのような対策を取ったのか伺いました。

県は「まずラジオやチラシなどで、消費者に落ち着いた行動を促した」、また「マスクや米、パンなど7品目について、消費動向に知見を持つ方22人を価格監視員に委嘱し、全圏域で継続的に監視活動を行い、寄せられた情報を元に立入調査を実施し、12事業者に指導を行った」と説明。

今後については、「消費者の落ち着いた行動、適正な商品監視、違法・不当な販売への厳正な指導・処分の3点が重要であり、消費者に対しては消費生活講座など様々な機会を捉えて情報を提供していく」との答弁がありました。

**非常時でも必要な物を、必要なとき、最低限必要な分だけでも手に入れられるよう、「パニック買い」を防止することはできないものでしょうか。今後も県執行部と一緒に検討していきたいと思います。**

## 新型コロナウィルス感染症対策と災害対策（避難対策について）

台風第10号では、17万人を超える方が避難した一方、新型コロナ対策として密集を防ぐため、避難所が満員となるケースが相次いだと聞いています。この経験を踏まえ、新型コロナウィルス感染症の終息の目途がつかない状況下での避難対策に、どのように取り組むのか伺いました。

県は「台風第10号の経験から、避難場所の確保をはじめ、より細やかな対策の

必要性を認識している。県内には学校や公民館のほか、大型商業施設の活用などを進めている市町村もあり、そのような取り組みを他市町村にも広がるよう情報提供していく。ホテルや旅館などを活用する取り組みも、確実に機能するよう県の連絡調整体制を強化するとの回答がありました。また、「避難所運営の専門家を招き、グループ討議などを交えた参加型の研修会を開催していく」とのことでした。

## 小中学校におけるICTを活用した教育に対する支援について

国のGIGAスクール構想を踏まえて進められているICT活用の推進について、自治体間の格差が生じないよう、県は市町村に対してどのような支援をするのか伺いました。

県は「9月に『ICT教育ガイドライン』を策定し、教員の指導力向上に努めている。今後はワーキンググループを設置し、先進自治体の取り組みなどを全市町村

で共有し活用するなど、小・中学校におけるICT活用を支援していく」との答弁でした。また、専担組織を作り取り組んでいくことについて、「現状は各所管課において他の業務と並行して担当しており、専担組織の設置を視野に、体制の強化について検討し、ICT教育の充実に努めていきたい」との説明がありました。

## 献血者確保のための取組について

新型コロナ拡大により、4月の献血計画人数を下回ったとの報道もあり、献血の現在の確保状況と今後について伺いました。

献血の確保状況については「5月以降は目標量の95%に改善し、8月には106.5%に回復している」との報告でした。今後の確保については、これまでの取

り組みのさらなる充実を並べる程度で、新たな取り組みなどの答弁はありませんでした。

**献血者確保は今後益々重要な課題になってくると考えています。提言も含め、県に働きかけていかなければと思います。**

## 地元問題

### (1)一級河川江川の浸水被害軽減策について

令和元年東日本台風で道路冠水により長時間通行止めが発生した県道川越栗橋線の被害軽減策について伺いましたところ、県は「現在道路の嵩上げを検討しており、測量を実施したところ。早急に嵩上げの高さを決定し、対策工事を進めたい」との回答がありました。

江川の調節池事業の進捗状況と今後の見通しについては、「令和2年9月時点で全体の約23%の掘削が完了。周囲から地下水の侵入を防ぐ遮水矢板の設置工事を進めるとともに、調節池の南側にある既存の市道橋の架け替えを実施している。引き続きスピード感をもって整備を進めていく」との説明がありました。

### (2)県道桶川停車場線の整備について

現在の進捗状況と、今後の見通しについて聞きましたところ、「現在の用地買収率は55%。用地が取得できた箇所から仮舗装を行い、暫定的な歩行空間の確保を行っている」「令和2年度は電線類の地中化に係る予備設計を行っている。引き続き早期の道路拡幅整備に向けて、用地の取得に努めたい」との説明がありました。



▲江川改修促進協議会(会長:小野克典桶川市長)は8月19日、関係各市の参加のもと、県への要望活動を行いました。昨年の台風19号発生時も県道川越栗橋線が冠水し、2日間通行止めになりました。最近は毎年被害が出ている状況もあり、早期の改修を強く求めています。

## コ・ラ・ム

新型コロナウィルスの感染拡大が人々の価値観を大きく変えつつあるように思います。このウイルスの厄介な点は、無症状や軽傷の人でも他の人に感染を広げてしまう可能性があるということです。自らを守るだけではなく、自らが周りに感染を拡大させないことが不可欠で、一人ひとりの心がけが何より大切です。具体的には、マスクの着用と手洗いうがいの習慣づけ。人混みができるだけ避けて、人とは一定の距離をとり、会話の際は真正面を避けることなどが挙げられます。

有効なワクチンや治療薬の開発が進み終息するまでは、新型コロナウィルスとの共存を前提に日常生活においての対策や対応がたいへん重要です。新しい生活様式に順応し取り入れながら、自身と大切な人を守ってまいりましょう。

## 一般質問全項目(県議会9月定例会／令和2年10月6日)

- 1 非常時のパニック買い対策について……………(県民生活部長)
- 2 新型コロナウィルス感染症対策と災害対策
  - (1)避難対策について……………(危機管理防災部長)
  - (2)災害ボランティア不足への対応について……………(福祉部長)
- 3 県職員の兼業について……………(知事)
- 4 放課後児童クラブに対する支援について……………(福祉部長)
- 5 小中学校におけるICTを活用した教育に対する支援について……………(教育長)
- 6 献血者確保のための取組について……………(保健医療部長)
- 7 狂犬病予防注射の接種率向上について……………(保健医療部長)
- 8 歩車分離式信号機について……………(警察本部長)
- 9 地元問題……………(県土整備部長)
  - (1)一級河川江川の浸水被害軽減策について
  - (2)県道桶川停車場線の整備について